

## 令和4事業年度業務実績報告書に関する各委員ご質問・ご意見事項

### 目次

#### <論点に係るご質問・ご意見>

- 大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見 …… P. 1 - P. 5 (質問番号 1 - 20)
- 高専の業務実績に関するご質問・ご意見 …… P. 6 - P. 8 (質問番号21 - 26)
- 大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見 …… P. 9 - P.11 (質問番号27 - 31)
- 法人の業務実績に関するご質問・ご意見 …… P.12 - P.15 (質問番号32 - 43)

<論点以外のご質問・ご意見> …… P.16 - P.36 (質問番号44 - 112)

**大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見**

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
1	槇山	2	その他(事実確認等)	大学院課程教育の充実(インターンシップ実施先多様化・・・)	IV	コロナの影響はあったとは思われるが、どのような努力の上で、3名だけとなったのかプロセスを知りたい	①C-ENGINE(産学協働イノベーション人材育成協議会)、②ジョブ型研究インターンシップ(文科省)を主に活動を実施しました。11名の学生がインターンシップ申し込みを行うも、企業希望者8名が、すべて企業側から受入を控えたい(コロナの影響)との回答がありました。残り3名に関しては、上記システムを利用せず、独自の活動の中で合格し、実施できました(3名とも公的機関)。
2	南	2	その他(事実確認等)	大学院課程教育の充実	IV	大学院共通教育科目について履修者なしのため不開講になった科目が3科目あるが、履修者なしとなった理由と、共通教育科目を設計時に予測できないことであったのかを教えてください。	1科目は新型コロナウイルス感染症により実習先である病院が使用できず、不開講となっています。その他2科目につきましては、インターンシップを行う科目となっており、企業と学生との研究分野の一致やテーマ設定の関係で履修者なしとなりました。設計時の予測はある程度できましたが、幅広い科目を提供するために開設しました。
3	奈良	2	評価の妥当性等	大学院課程教育の充実(ジョブ型インターンシップ)	IV	民間企業での実施は全くなかったのでしょうか。	実績記載の通り、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、民間企業での実施はございませんでした。
4	奈良	2	評価の妥当性等	大学院課程教育の充実(社会問題解決型PBLの実施)	IV	年度計画を1件とした理由を教えてください。	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施の見込みを立てることが難しかったため、2021年度実績と同じ達成水準としたものです。
5	奈良	2	その他(事実確認等)	大学院課程教育の充実(都市経営研究科博士後期課程における授業評価アンケート回答結果の分析・検証、改善策の策定・実施)	IV	授業評価アンケート回答結果の分析・検証改善策の策定・実施とありますが、「実施」は何を指すのでしょうか。取り組み実績の「検討を依頼」と整合性があるのでしょうか。	「実施」につきましては、改善が必要であると研究科として判断した場合は、学生への指導方法等の改善を実施するという意味でございます。また、「検討を依頼」との整合性については、2022年度前期授業評価アンケートの集計結果については、研究科へ共有され、研究科が改善が必要と判断した場合には、指導方法等の改善が実施されています。2022年度後期授業評価アンケートの集計結果については、研究科へ共有され、指導方法等の改善の要否について検討を依頼したところとなっております。
6	槇山	7	評価の妥当性等	課外活動支援	IV	IVの根拠は ボランティアセンター新規登録の数などか?	お見込みのとおりです。
7	奈良	7	評価の妥当性等	課外活動支援(自己評価について)	IV	評価IVの理由は何でしょうか。	専任のボランティアコーディネーターを配置し、春と秋にボランティア説明会を実施した結果、ボランティアセンター新規登録学生数が目標を上回ったため、IV評価としました。

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
8	浅田	9	評価の妥当性等	学生の健康支援	Ⅲ	複数項目で達成水準を上回っているが、自己評価をⅢとした理由を確認したい。	学生相談は努力して数を増やす種類の指標ではないですが、学生相談体制や広報が機能しているのかどうかを判断するための指標として、数値目標を設定しています。数値目標を達成できたため評価をⅢと判断しました。
9	槇山	9	その他(事実確認等)	学生の健康支援	Ⅲ	対面相談も数多いが、どのような内容の相談が多いか、それにマッチした相談体制は十分か	相談内容については、精神的にしんどくなったり、不安を抱えたりしている「精神衛生」に関する学生が多くなっています。面談時間も確保し、一人一人に向き合い対応しているため、個人への配慮はしっかり行っています。
10	奈良	9	その他(事実確認等)	学生の健康支援 (健康診断受診率について)	Ⅲ	受診率「向上」というより「維持」という表現の方が妥当と言えるのではないのでしょうか。そもそも受診率の目標値をどこに置くかで、数値の評価は変わるように思います。また、関係者の方々のご努力に頭が下がります。受診しない学生に何かをさせることが必要に思います。	(評価にあたっての委員意見)

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
11	浅田	11	その他(事実確認等)	入学者選抜	IV	2022年度入試の分析結果が2023年度入試にどのように活用されたか確認したい。	入試結果や分析について情報共有するとともに、特に志願者が減少した部局等においては、入試課の支援のもと、イベントの開催、進学相談会の新規地区開拓等、志願者増に向けた取組みを行いました。
12	網代	11	その他(事実確認等)	入学者選抜	IV	高等学校教員対象説明会の参加者等の昨年度比較を教えてください。	以下のとおりとなっています。  <令和4年度> 開催日：7月8日(金)～7月17日(日) 開催方法：申込制の限定公開YouTube配信形式 参加者数：194名、視聴回数301回  <令和3年度> 開催日：7月2日(金) 開催方法：オンラインのライブ形式 参加者数：478名
13	原	11	その他(事実確認等)	入学者選抜	IV	出願者ではなく実際に受験した人数での倍率がわかれば教えてください。	受験倍率は、下記の通りです。 全体4.6倍(前期：2.9倍、中期：10.3倍、後期：5.8倍)
14	奈良	11	評価の妥当性等	入学者選抜(自己評価について)	IV	評価IVの理由は何でしょうか。	入試制度や問題作成の参考資料として、志願動向分析に加え、個別学力検査の各試験問題の大問別の得点分析を学部・学域別に行うなど、年度計画を超える取組みを実施したため、IV評価としました。
15	浅田	14	評価の妥当性等	大学の強みを活かした研究の推進	III	複数項目で達成水準を上回っているが、自己評価をIIIとした理由を確認したい。	達成水準自体上回っているものの、元の目標と比べて数件の上振れであり、進捗自体は概ね計画通りであったため、III評価と判断しました。
16	奈良	14	評価の妥当性等	大学の強みを活かした研究の推進(自己評価について)	III	評価IIIの理由は何でしょうか。	達成水準自体上回っているものの、元の目標と比べて数件の上振れであり、進捗自体は概ね計画通りであったため、III評価と判断しました。

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
17	槇山	18	その他(事実確認等)	産業活性化への貢献	Ⅲ	マッチングイベントの企業集めの具体的な手法は？	各イベントでのチラシ配布や過去のイベント参加者リストを使ったDM、学外のメルマガ(コンソーシアム等)、学内HP、SNS等も活用しています。
18	奈良	18	評価の妥当性等	産業活性化への貢献(自己評価について)	Ⅲ	評価Ⅲの理由は何でしょうか。	達成水準を上回った取組みと、下回った取組みがあることから、総合的にⅢ評価と判断しました。
19	奈良	21	評価の妥当性等	研究における国際力の強化(自己評価について)	Ⅲ	評価Ⅲの理由は何でしょうか。	国際研究申請や補助事業による研究活動実績については、コロナ渦による海外研究の影響や補助事業期間全体のバランスを鑑み、おおむね進捗通りとしています。
20	奈良	25	その他(事実確認等)	地域医療および市民への貢献	Ⅲ	「市民」という文言で問題ないでしょうか。中期目標や中期計画の達成水準においては、「地域住民」という文言が使われています。	変更前中期計画から継続している計画のため、「市民」という表現となっています。

**高専の業務実績に関するご質問・ご意見**

<年度評価：高専の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
21	浅田	27	その他(事実確認等)	高専教育の質の向上と検証	Ⅱ	2021年、2022年の履修者数および修得率にコロナの影響があるか確認したい。	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラムの修得率向上に向け、学生に対して認定プログラムに関する説明を行うとともに、各専門コースにおいて修得率の向上方策を行っていましたが、本プログラムの修了要件に4年次の選択科目であるインターンシップが含まれており、コロナ禍で企業側のインターンシップの中止が相次いだこと、また感染恐れからインターンへの参加を見送る学生が一定数いたことにより、認定プログラムの修得率が2021年度62.3%に対し、2022年度は55.4%となり、修得率が低下しました。</p> <p>2023年度においては、企業側のインターンシップが再開されており、またインターンシップ以外の単位について、着実な単位修得に向け、学生指導を強化していることから、修得率は向上する見込みとなっています。</p>
22	網代	27	その他(事実確認等)	高専教育の質の向上と検証	Ⅱ	産学共有プログラム「学内インターンシップ」を試行された結果、わかったこと、次年度への課題などを教えてください。	<p>年度末に開催した校内組織である「学内インターンシップ審査・評価部会」から、「企業の実施報告書、学生アンケート結果等から、概ね当初目標を達成し、有意義であった。」、「インターンシップの実施風景が外から見えたら、より良かった。」等のコメントがあり、一定効果があったと考えられます。</p> <p>次年度への課題としては、本格実施する際の単位認定についての検討が必要と考えています。</p>
23	横山	27	その他(事実確認等)	高専教育の質の向上と検証	Ⅱ	認定プログラムの数理データサイエンスは今後重要となるが、具体的修得率を上げる工夫はどのようなものか。	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラムの修得率向上に向け、学生に対して認定プログラムに関する説明を行うとともに、各専門コースにおいて修得率の向上方策を行っていましたが、本プログラムの修了要件に4年次の選択科目であるインターンシップが含まれており、コロナ禍で企業側のインターンシップの中止が相次いだこと、また感染恐れからインターンへの参加を見送る学生が一定数いたことにより、認定プログラムの修得率が2021年度62.3%に対し、2022年度は55.4%となり、修得率が低下しました。</p> <p>2023年度においては、企業側のインターンシップが再開されており、またインターンシップ以外の単位について、着実な単位修得に向け、学生指導を強化していることから、修得率は向上する見込みとなっています。</p>



<年度評価：高専の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
24	奈良	27	評価の妥当性等	高専教育の質の向上と検証(認定プログラムの修得率の向上について)	Ⅱ	修得率が低下した理由は何でしょうか。	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラムの修得率向上に向け、学生に対して認定プログラムに関する説明を行うとともに、各専門コースにおいて修得率の向上方策を行っていましたが、本プログラムの修了要件に4年次の選択科目であるインターンシップが含まれており、コロナ禍で企業側のインターンシップの中止が相次いだこと、また感染恐れからインターンへの参加を見送る学生が一定数いたことにより、認定プログラムの修得率が2021年度62.3%に対し、2022年度は55.4%となり、修得率が低下しました。</p> <p>2023年度においては、企業側のインターンシップが再開されており、またインターンシップ以外の単位について、着実な単位修得に向け、学生指導を強化していることから、修得率は向上する見込みとなっています。</p>
25	奈良	27	その他(事実確認等)	高専教育の質の向上と検証(認定プログラムの修得率の向上について)	Ⅱ	判断根拠の欄に記載された「88.9%」は何を意味するのでしょうか。	<p>達成水準が「認定プログラムの習得率の向上」であるため、前年度比を示しています。</p>
26	奈良	27	その他(事実確認等)	高専教育の質の向上と検証(DXをとりいれた授業の実施について)	Ⅱ	設備等の購入など教育環境整備が達成水準として挙げられていますが、デバイスの整備だけで問題ないのでしょうか。教育基盤整備は完了しているとの理解でよいのでしょうか。	<p>令和3年度補正予算により令和4年度から機材導入を行いました。世界情勢の影響等で年度内の納期が厳しい物品もありましたが、低学年におけるDX教育基盤整備はほぼ完了しており、本年度よりDXマインド教育を本格的に展開しています。</p>

**大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見**

<年度評価：大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
27	網代	34	その他(事実確認等)	(府大) 質の高い教育の提供	Ⅲ	各種国家試験合格率【獣医師】について、過去3年間の合格率の推移と全国平均との関係を教えてください。また、この結果をどのように分析・検証されているのか教えてください。	<p>【獣医師 国家試験合格率】 2020：84.6% (全国平均92.1%) 2021：88.4% (全国平均88.6%) 2022：70.7% (全国平均81.1%)</p> <p>2022年度は問題の傾向が従来のものから大きく変化しましたが、全国的な合格率低下の要因と分析しています。また、受験者の自己採点結果を聞き取り、本学学生の得点分布と合格ラインとの関係を分析し、併せて不正解問題の特定作業を進めることで、今後の受験対策の強化方針を検討しているところとなっております。</p>
28	奈良	34	その他(事実確認等)	(府大) 質の高い教育の提供 (各種国家試験合格率の維持について)	Ⅲ	合格者数も併せて表記されるとよいでしょう。また、獣医師の合格率について、例年より特に低かった理由が何かあるのでしょうか。	<p>【獣医師 国家試験合格率】 2020：84.6% (全国平均92.1%) 2021：88.4% (全国平均88.6%) 2022：70.7% (全国平均81.1%)</p> <p>2022年度は問題の傾向が従来のものから大きく変化しましたが、全国的な合格率低下の要因と分析しています。また、受験者の自己採点結果を聞き取り、本学学生の得点分布と合格ラインとの関係を分析し、併せて不正解問題の特定作業を進めることで、今後の受験対策の強化方針を検討しているところとなっております。</p>

<年度評価：大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
29	槇山	41	その他(事実確認等)	(府大)キャリア支援	IV	インタラクティブセミナーの内容は？	「インタラクティブセミナー」は、学生の就活スキルに係る下記①～⑤のテーマを少人数でキャリア支援室講師が質問と応答を共有しながら、時間内に各自の課題を解消する目的で実施しています。 ①就活準備と自己分析 ②エントリーシート作成の基礎 ③面接の基礎 ④グループディスカッション体験 ⑤面接実践、を主に学生が授業に影響しない時間に自由に予約できるような様々な時間帯に各回90分で年間150回以上、実施しました。
30	奈良	41	その他(事実確認等)	(府大)キャリア支援(就職率について)	IV	過年度の推移を教えてください。	大阪公立大学は、学士課程の卒業年度を迎えておりませんので、就職率の推移はございませんが、参考まで府大・市大の就職率推移は下記の通りです。 <府大> 2020：98.1%、2021：98.1%、2022：98.8% <市大> 2020：94.1%、2021：96.3%、2022：96.4%
31	奈良	43	その他(事実確認等)	(市大)キャリア支援(就職率について)	IV	過年度の推移を教えてください。	大阪公立大学は、学士課程の卒業年度を迎えておりませんので、就職率の推移はございませんが、参考まで府大・市大の就職率推移は下記の通りです。 <府大> 2020：98.1%、2021：98.1%、2022：98.8% <市大> 2020：94.1%、2021：96.3%、2022：96.4%

**法人の業務実績に関するご質問・ご意見**

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
32	原	44	その他(事実確認等)	理事長のトップマネジメント	Ⅱ	理事長戦略費用の、設置目的、内容、設定金額上限を教えてください。	理事長戦略経費は、法人が戦略的に取り組みべき分野について、新たな施策の実施及び検討のための予算となります。 担当理事が必要と認める事業に関して要求が可能であり、法人・大学戦略会議にて審議の上、承認される運用とし、2022年度は1億円を予算計上していました。
33	原	44	その他(事実確認等)	理事長のトップマネジメント	Ⅱ	「理事の役割の明確化」を進めたとのことですが、進める前、進めた後、の役割の違いを説明してください。	法人及び大学における重要戦略課題を設定し、各担当理事毎に落とし込みを行ったうえで、経営審議会にて、取り組み状況を報告する取り組みを始めました。 加えて、各キャンパスの管理運営に各理事が責任を持つ体制を構築するため、新たに各理事毎に担当キャンパスを設定しております。
34	原	44	その他(事実確認等)	理事長のトップマネジメント	Ⅱ	「特別職人事の廃止・見直し」を進めたとのことですが、特別職人事とは何ですか。また、進める前、進めた後、の違いを説明してください。	外部の知見を活用するため、特別職として、アドバイザーボードや理事長補佐、学長特別顧問等に、外部の人材を状況と必要に応じてその都度任命してきたものです。 今回、法人・大学として戦略的に外部の知見を有効活用できる仕組みを構築するため、またその任命プロセスの透明化を図るため、一部を除いて制度を廃止したうえで、新たに「公立大学法人大阪特別顧問制度」を制定しました。 また、任命プロセスの透明化を実現するため、特別職人事の任命は役員会にて審議して決定されることとしました。
35	奈良	44	評価の妥当性等	理事長のトップマネジメント(病院長選考について)	Ⅱ	取り組み実績に、「新たに制定した病院規程及び病院長候補者選考規程」とありますが、これまで両規程はなかったのでしょうか。	従前においても両規程にあたるものはありましたが、以下の通りに規程体系を変更し、より外部の視点を踏まえた病院長選考を実現できる体制を整備しています。  【令和3年度まで】 ・大阪市立大学医学部附属病院規則(病院の設置や目的を主に規定したもの。病院長選考に関する規定は含まれず)※病院長専決で制定 ・大阪市立大学医学部附属病院長選考会議規程(病院長選考にかかる基本的な制度や仕組みを制定)※病院長専決で制定 ・大阪公立大学医学部附属病院長選考規程(具体的な選考方法を規定)※選考会議内で決定 【令和4年度から】 ・大阪公立大学医学部附属病院規程(附属病院の設置や目的に加え、病院長選考会議の設置や任期についても規程)※法人の役員会で審議のうえ制定 ・大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考規程(病院長選考に関する選考方法等を規定)※法人の役員会で審議のうえ制定

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
36	網代	49	その他(事実確認等)	ダイバーシティの推進	Ⅲ	キャリアデザインセミナーやキラリカフェの内容を教えてください。	<p>&lt;キャリアデザインセミナー&gt;大阪府と共催 企業における女性活躍推進の取り組みや、キャリアアップ、ワーク・ライフ・バランス等について、各企業における取り組みや講師ご自身の経験等を紹介し、自分らしい生き方・働き方を考えるきっかけ作りを目的としたセミナー。 学生、教職員、一般の方も参加対象。</p> <p>&lt;キラリカフェ&gt;サクヤヒメSDGs研究会・大阪商工会議所と共催 女性がイキイキ働くためのヒントを、社会人の先輩たちとのグループトークを通じて学び、将来の仕事やライフイベントの悩みを解消することを目的とした座談会。 参加対象は女子学生のみ。</p>
37	原	49	その他(事実確認等)	ダイバーシティの推進	Ⅲ	2023年ダイバーシティ戦略予算の事業内容とそれぞれの金額を教えてください。	<p>現時点では、以下の予定をしています。 女性教員比率の向上に向けた取り組み：21,500千円 外国人教員確保に向けた取り組み：2,000千円 ハラスメントにかかる経費：1,911千円 合計：25,411千円</p>
38	奈良	49	評価の妥当性等	ダイバーシティの推進(教員、教授、管理職の女性比率について)	Ⅲ	当該年度だけでなく、過年度の推移を示すことによって、改善への取り組み姿勢が示されるのではないのでしょうか。	<p>大阪公立大学としての数字となりますので、単年度の記載となっています。ご参考まで、府大及び市大の過年度の女性教員比率は、下記の通りです。</p> <p>&lt;府大&gt; 2019:20.5%、2020:20.5%、2021:21.1%</p> <p>&lt;市大&gt; 2019:16.7%、2020:17.6%、2021:17.1%</p>

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
39	原	52	評価の妥当性等	業務の効率化及び適正化	Ⅲ	Ⅲと評価する理由を追加説明ください。(現状の記載ではよく伝わってこなかったため)	統合効果を発揮するとともに、事業の精査により予算を削減するため、グランドデザインWGを設置し、事業費が特定の金額を超える事業や補助金修了後の残存事業等について、精査を行いました。 予算配分については各所属ヒアリングを行い、適切に実施したことから、計画及び達成水準を満たす取り組みができたと判断しました。
40	奈良	52	評価の妥当性等	業務の効率化及び適正化 (統合効果に基づく運営経費の増減や必要性の分析に基づく予算配分)	Ⅲ	統合効果によって、効果的な予算配分となったもの、あるいはあまり変化のなかったものは、どのようなものでしょうか。	統合効果によりこれまでの事業を統一化・効率化を実行した上で財源の見直し・組み換えを実行し、新たに戦略予算(理事長裁量枠・学長裁量枠)及び新規重点予算を総額3億円設定し、新大学事業にふさわしいものについて集中して予算投下できる仕組みを整備しました。 なお、新大学の円滑なスタート・運営を優先する事業が多かったことから、R4年度期中からグランドデザイン構造改革が立ち上がり抜本的な事業見直しについては議論を進めており、今後は進捗管理・計画の見直しなどを推し進めて統合効果をより深めていくこととします。
41	槇山	55	評価の妥当性等	戦略的広報	Ⅳ	Ⅳの根拠は？	メディア懇談会を目標を上回る回数実施いたしました。また、医、工、理をはじめ、リハ、看護、生科、現シスなどからの様々な研究成果に基づくプレスリリースを行い、目標件数を上回ったことに加え、さらに、広報課内に「国際広報室」を設置し、2名のネイティブスタッフを中心に日本語研究リリースの英語化及びその発信を進め、目標件数を上回ったため、Ⅳ評価としました。
42	奈良	55	評価の妥当性等	戦略的広報	Ⅳ	広報の対象や内容はもちろん、方法や時期など、何が戦略的なのかがわかるような、大阪公立大学の特徴を示す記述が必要ではないでしょうか。	2022年度年度計画においては、主に研究事案の広報についての計画となっており、メディア懇親会開催や研究プレリリース及びその海外発信等についての取組実績を記載しております。 なお、2023年3月に大阪公立大学では「大阪公立大学 広報戦略」を策定しており、大阪公立大学における当面の広報戦略の主な方向性を示しています。
43	奈良	64	評価の妥当性等	コンプライアンス等の推進	Ⅱ	問題が生じたときの広報についての項目は必要ないでしょうか。	計画に設定はしていませんが、問題が生じた際には、適切に公表等を行います。



**論点以外のご質問・ご意見**

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
44	槇山	1	その他(事実確認等)	学士課程教育の充実 (全学生に向けた数理データサイエンス科目の運営 実施)	Ⅲ	目標設定に修了者数は示されていないが、少ない印象。これについては、どのように評価しているか	当プログラムは公大として令和4年度から開設していますが、府大生、市大生も履修可能なプログラムとなっており、プログラムの修了認定は卒業の際に行われます。 令和4年度卒業生は府大生、市大生のみであること、修了要件科目の履修機会が公大生に比べて少なかったことなどから、令和4年度修了者数については妥当と考えております。公大生向けには別途開講科目を設けており、今後当プログラムの修了者は増加する見込みです。
45	奈良	1	その他(事実確認等)	学士課程教育の充実 (学習成果の満足度)	Ⅲ	回答総数や回収率などを記載できないでしょうか。	回答総数は76,511人、履修者数に対する回収率は約60%となっております。
46	奈良	1	その他(事実確認等)	学士課程教育の充実 (学習成果の満足度)	Ⅲ	年度計画となっている満足度平均値4.6とした理由は何でしょうか。また、教員共通の対応などがあるでしょうか。	旧府大にて2012年に学域、学類に移行した直後の平均値を参考に設定しております。
47	網代	3	その他(事実確認等)	内部質保証	Ⅲ	大学が inputs を促す仕組みを構築されたのにもかかわらず、後期の入力率が下がっている理由を教えてください。	学生の回答を必要とする調査については、一般的な傾向として学年進行により回答率が下がる傾向にあります。 学修ポートフォリオについても、同様の傾向となっており、後期の方が回答率が低くなっています。 入力率の全体的な底上げを図るべく、メールでの案内や、構築・運用している未入力者向けアラートメッセージ送信を強化していきます。
48	奈良	3	その他(事実確認等)	内部質保証 (学士課程1年生調査)	Ⅲ	回収率46.7%をどのように評価されているのでしょうか。	学生向けの任意回答のアンケート調査であること、また、公立大学として初めての調査であることを考慮すると、現実的な数値と考えています。今後、調査の意義を学生に周知することで、回収率を高めるとともに、アンケート調査以外の学修成果評価指標(シラバスへの到達目標明記と各授業の成績評価の状況分析、卒業判定の状況、「授業振り返り」への回答状況など)と合わせて、学修成果の評価を行っていきます。

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
49	奈良	3	その他(事実確認等)	内部質保証(学習ポートフォリオの入力率)	Ⅲ	前期より後期の方が入力率が低い理由は何でしょうか。	<p>学生の回答を必要とする調査については、一般的な傾向として学年進行により回答率が下がる傾向にあります。学修ポートフォリオについても、同様の傾向となっており、後期の方が回答率が低くなっています。</p> <p>入力率の全体的な底上げを図るべく、メールでの案内や、構築・運用している未入力者向けアラートメッセージ送信を強化していきます。</p>
50	奈良	4	その他(事実確認等)	教職員の教育力向上(全学FD・SD事業)	Ⅲ	実施の効果やその内容をどのように検討されているのでしょうか。	<p>実施の効果については、全学FD企画を中心に、参加度合いと参加者アンケートや教員調査の自由記述等で、ニーズや満足度・課題等を確認しています。</p> <p>また、内容の検討については、教育現場に近い各部局では、部局のFD委員等を中心に、その時々での現場の必要性・ニーズに沿った多様なFDを毎年複数企画していることに加えて、全学FDでは、その時々で大学全体で議論が必要な課題や教員各々が抱える多様なFDニーズに対応するために、多人数で全学的に情報共有と議論をする企画、少人数でじっくり議論をする企画、新任教員や若手教員対象の研修など対象者限定の企画や、LMSの使い方などの実用的な企画等を、高等教育研究開発センターを中心に、全学の教育の質保証を担う教育推進本部や教育改革委員会等とも共催の形で、幅広いFD企画を実施しています。参加者アンケートや教員意識調査等では、自由記述でも意見を集約し、そこからニーズを拾い上げて企画に採り入れることも行っています。</p> <p>また、上記の実施の効果と内容については、全学FDの企画は教育改革委員会でも審議し、部局FDや全学FDの実施状況・効果は同委員会でも報告して活動の企画内容・結果を確認・検討しており、全学として組織的に、教育改革・教育の質保証のためのFDとその効果の充実を図っています。</p>

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
51	奈良	5	その他(事実確認等)	学習支援(TA制度)	Ⅲ	TF、TA、SAの人数を教えてください。また、全学生に対する比率はどの程度でしょうか。	TF：24名、TA：1,196名、SA：133名 ※延べ数で集計しているため、全学生に対する比率は把握しておりません。
52	原	6	その他(事実確認等)	経済的支援及び学修奨励制度	Ⅲ	奨学金制度の採用数割合の目標値を90%に設定した理由を教えてください。	国・府の政策による減免や給付奨学金といった支援が充実してきており、大学独自の奨学金は他奨学金と比べ少額であること、また当該制度自体が他奨学金との併願不可であることから、大学独自の奨学金への応募者数は減少傾向にあります。 そのような中で、告知方法を工夫し、広く周知することにより採用数割合が90%以上となることが、一定の成果の判断になると考え、目標値を90%に設定しています。
53	原	6	その他(事実確認等)	経済的支援及び学修奨励制度	Ⅲ	奨学金制度の採用数割合の実績値が76%になった理由を教えてください。例えば、応募者が少なかったのか(告知不足か、その奨学金制度自体の魅力が低いのか)、応募は多かったが応募者が学力をはじめとする要求水準を満たさなかった。などを想定していますが、いかがでしょうか。	国・府の政策による減免や給付奨学金といった支援が充実してきており、大学独自の奨学金は他奨学金と比べ少額であること、また当該制度自体が他奨学金との併願不可であることから、申請者数の実績値が目標に届かなかったと考えています。 金額設定の変更など申請者増につながるような仕組みを前向きに検討しているところとなっています。
54	奈良	6	評価の妥当性等	経済的支援及び学修奨励制度(国および府の修学支援制度の継続申請および新規申請)	Ⅲ	約1割弱減少した理由は何でしょうか。	国及び府の支援制度については、収入要件が採用条件の大きな根幹であり、それを満たす学生が単純に減ったと考えています。その要因の一つとして、脱コロナに向け、徐々に経済活動が回復したことも要因に挙げられると考えています。

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
55	奈良	6	評価の妥当性等	経済的支援及び学修奨励制度(奨学金制度ごとの定員数に対するの採用数割合)	Ⅲ	約1割強減少した理由は何でしょうか。	国・府の政策による減免や給付奨学金といった支援が充実してきており、大学独自の奨学金は他奨学金と比べ少額であること、また当該制度自体が他奨学金との併願不可であることから、申請者数の実績値が目標に届かなかったと考えています。金額設定の変更など申請者増につながるような仕組みを前向きに検討しているところとなっています。
56	奈良	6	その他(事実確認等)	経済的支援及び学修奨励制度(博士後期課程に在籍する全学生に占める研究奨学金制度・・・)	Ⅲ	年度計画の数値目標65%の根拠を教えてください。	大阪府立大学、大阪市立大学において、本制度での支援を受けた学生の割合が概ね60%程度であったことを踏まえ、目標値を設定しています。
57	槇山	8	その他(事実確認等)	キャリア支援	Ⅳ	個別キャリア支援の多様な相談員というのは具体的にどのような人材か	「多様な相談員」とは、男性、女性、年齢等の違いの他、保有経験(キャリアコンサルタント、人事経験者、他学での相談員経験者等)の違いにより、様々な知見を持つ人材になります。学生は、キャンパスを跨って多様なタイプの相談員と個別相談をできることとなり、支援向上に努めました。
58	奈良	8	その他(事実確認等)	キャリア支援(個別キャリア相談数と就職支援イベント数)	Ⅳ	学士課程就職率の推移はどうなっているのでしょうか。	大阪公立大学は、学士課程の卒業年度を迎えておりませんので、就職率の推移はございませんが、参考まで府大・市大の就職率推移は下記の通りです。 <府大> 2020：98.1%、2021：98.1%、2022：98.8% <市大> 2020：94.1%、2021：96.3%、2022：96.4%

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
59	網代	10	その他(事実確認等)	多様な学生を包摂する取組	Ⅲ	支援を要する学生に対する合理的配慮がされるなか、教職員の支援に関するFD/SD研修への参加率が53%であった理由を教えてください。	<p>参加率は専任教職員を対象に算出しており、非常勤教職員等は除いた数値となっています(病院スタッフ等、分母に含めるのが適切ではない非常勤職員がいたため)。</p> <p>合理的配慮やSOGIの基本的な内容について全教職員に知ってもらう必要性を考え高い目標を掲げ、以下のような取り組みを年度を通じて行っておりましたが、周知が行き渡らなかったため、参加率の目標が未達に終わったと考えています。</p> <p>今年度に予定されている研修については、研修内容によって効果的な周知方法を実施する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局のアクセシビリティ支援委員から部局教員への視聴依頼を数度実施。</li> <li>・部局長会議や教育推進本部会議での周知を実施。</li> <li>・各課長級へ視聴依頼を2度実施。</li> <li>・ポータルサイトへのお知らせを複数回掲載。</li> </ul>
60	槇山	10	その他(事実確認等)	多様な学生を包摂する取り組み	Ⅲ	留学生サポーターの数についてはどう評価しているかさらに増やす必要があるように思うが	<p>昨年度サポーターとして登録した日本人学生は26名であり、配置を希望した留学生は14名でした。サポーターはチューターが配置されるまでの期間で、日常生活の補助を行っています。後期入学の留学生対応のため、7月より再度サポーターの募集を行う予定であるため、今後の留学生受け入れ増の方針に対応した、留学生サポーターの増員は十分に考えられます。</p>

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
61	奈良	10	評価の妥当性等	多様な学生を包摂する取組(研修会の教職員の参加率)	Ⅲ	達成水準を下回った理由は何でしょうか。	<p>参加率は専任教職員を対象に算出しており、非常勤教職員等は除いた数値となっています(病院スタッフ等、分母に含めるのが適切ではない非常勤職員がいたため)。合理的配慮やSOG Iの基本的な内容について全教職員に知ってもらう必要性を考え高い目標を掲げ、以下のような取り組みを年度を通じて行っておりましたが、周知が行き渡らなかったため、参加率の目標が未達に終わったと考えている。今年度に予定されている研修については、研修内容によって効果的な周知方法を実施する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局のアクセシビリティ支援委員から部局教員への視聴依頼を数度実施。</li> <li>・部局長会議や教育推進本部会議での周知を実施。</li> <li>・各課長級へ視聴依頼を2度実施。</li> <li>・ポータルサイトへのお知らせを複数回掲載。</li> </ul>
62	浅田	12	その他(事実確認等)	研究力の強化	Ⅳ	テニュアトラック推進会議が設置されなかった理由を確認したい。	<p>テニュアトラックに係る制度面は2022年4月までに規程化・整備を行いました。テニュアトラック推進会議は、公立大学法人大阪テニュアトラック制度に関する規程第17条の委員をもって組織し、必要に応じて検討の場を設定しております。</p> <p>2023年度以降もテニュアトラック制の活用・普及に向けて引き続き支援を実施していく見込みとなっています。</p>

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
63	網代	12	その他(事実確認等)	研究力の強化	IV	No. 49ダイバーシティの推進にも関わりますが、セミナー参加者の声や研究者等がどのような支援を必要としているのか教えてください。	<p>研究者への支援としては、1) ライフイベント(妊娠・出産・育児・介護)中も研究を続けられるように支援する「ワーク・ライフ・バランス支援」と、2) 女性研究者数、特に上位職(教授等)を増やすための「キャリアアップ支援」の2つに分けられます。</p> <p>1) ワーク・ライフ・バランス支援のうち、特にニーズが高いのは、ライフイベント中の研究者を対象とした「研究支援員制度」であり、2022年度は69名(うち女性45名、男性24名)、2023年度は75名(女性44名、男性31名)から申請があり、全員に配置しています。</p> <p>2) キャリアアップ支援としては、女性教員(准教授以下)限定の学内競争的研究費として「RESPECT研究助成」を実施している。2023年度は16件の申請があり、現在審査中で、5件程度を採択する予定となっています。</p>
64	槇山	12	その他(事実確認等)	研究力強化	IV	URA特任教授の顔ぶれ、どのような知見をお持ちか?	<p>URA特任教授は、若手研究者等(博士課程学生、PD含む)の研究支援施策を実施しています。主に外部資金獲得面では、文科省科研やJSPS特別研究員(海外含む)の申請支援企画を担当しています。そのため、科研費申請の知識・経験に富んだ方や、特別研究員、国際共同研究審査委員や日本学術会議連携会員(うち2名)など、実際の審査等の知識・経験を有する方となっています。</p>
65	奈良	12	評価の妥当性等	研究力強化(テニュアトラックワークショップの開催)	IV	テニュアトラック推進会議が未設置に理由は何でしょうか。	<p>テニュアトラックに係る制度面は2022年4月までに規程化・整備を行いました。テニュアトラック推進会議は、公立大学法人大阪テニュアトラック制度に関する規程第17条の委員をもって組織し、必要に応じて検討の場を設定しております。2023年度以降もテニュアトラック制の活用・普及に向けて引き続き支援を実施していく見込みとなっています。</p>



<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
66	奈良	13	その他(事実確認等)	研究推進体制の整備	Ⅲ	協創研究センターの有効活用を図ることは2023年度からという理解でよいでしょうか。	協創研究センターは、2022年度の大阪公立大学開学時に設置され、学域または研究科の枠を超えた分野(部局)横断的研究を推進するため、様々な分野の教員が集まる50以上の研究所が、その傘下で活動しています。
67	浅田	17	その他(事実確認等)	生涯学習への貢献	Ⅳ	「文化人材育成プログラム」の実施状況を確認したい。	文化人材育成プログラムは市大時代の2015年度から大阪文化を体感できる実践演習形式の授業科目を中心に、4科目(1科目90分×15回)を基本構成とするプログラムを提供しています(受講期間は最大2年間)。本プログラムを修了した受講生には、履修証明書を交付しており、2022年度受講者数は21名(うち14名は2022年度から受講開始、7名は2021年度から継続受講)となっております。
68	槇山	17	その他(事実確認等)	生涯学習への貢献	Ⅳ	公開講座はすべて無料?有料にするレベルの企画も可能か?	公開講座は、無料・有料とにもございます。
69	奈良	17	その他(事実確認等)	生涯学習への貢献(新規講座企画数)	Ⅳ	年度計画の達成水準を1件とした理由を教えてください。	大阪公立大学として各研究科から選出した講師による新規連続講座「公大講座」(11テーマ)の開催を第一の目標としていたことから、達成水準を1件に設定しておりました。
70	槇山	19	その他(事実確認等)	都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能の整備	Ⅲ	目標にはあがっていないが、リビングラボ機能については、具体的にはどのような機能を大学が持つと想定しているか	在阪企業と大阪府下自治体との連携による大型共創研究を推進するために必要な実験実証施設で、施設内に、インキュベーションスペース、レンタルラボ、研究グループ・関係者が利活用できるオープンイノベーション・コワーキングスペースを整備する予定となっております。スマートエネルギー領域における企業・参画機関との共同研究や大学発ベンチャーの活動拠点となる想定となっております。

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
71	奈良	19	その他(事実確認等)	都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能の整備(「イノベーション・アカデミー構想」の具体化と実現に向けての推進)	Ⅲ	イノベーション・アカデミー構想推進のために、大阪府、大阪市の企業版ふるさと納税の制度を活用した事業推進を行ったとありますが、具体的にどのような事業を行ったのでしょうか。	<p>下記の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR、プロモーション事業 イノベーションアカデミー事業をPRするためのパンフレットの作成、ウェブサイトの構築等を行いました。</li> <li>・環境整備事業 中百舌鳥キャンパスに整備を計画しているイノベーションアカデミー関係施設に関する基本計画の作成を行いました。</li> <li>・事業コーディネータ雇用 イノベーションアカデミー事業を担当する事業コーディネーター、特任教員等の雇用を行いました。</li> <li>・実証実験・調査費用 イノベーションアカデミー事業の一環であるスマートシティに関する実証実験・調査を行いました。</li> </ul>

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
72	奈良	20	評価の妥当性等	グローバル人材の育成 (English Café Talk等の正課外講座の提供、充実)	Ⅲ	「充実」については、どのように評価するのでしょうか。「実施済み」という判断根拠でよいのでしょうか。	<p>業務実績報告書に記載のとおり、正課外講座としてEnglish Café Talk、ロシア語ランゲージカフェ、日本語課外講座を開催しました。English Café Talkについては杉本キャンパスでの対面開催だけでなく、オンラインも活用し、学生が参加しやすい環境を整えた上で計29回実施した結果、合計76名の参加を受け付けています。</p> <p>ロシア語ランゲージカフェについては、杉本、中百舌鳥両キャンパスで開催し、また、神戸市外国語大学のロシア語科目履修者と合同で「神戸市内の歩き旅『ロシア風の北野への散歩』」を実施し、17名が参加しました。さらに日本語課外講座については、杉本キャンパス、中百舌鳥キャンパスおよびりんくうキャンパスにて、10月3日～1月17日の期間で対面により実施し、杉本では25名、中百舌鳥では15名、りんくうでは4名の学生がそれぞれ参加しています。</p> <p>これらの取り組みから、正課外講座を充実させることができたかと判断したところとなっています。</p>
73	吉川	23	その他(事実確認等)	高度・先進医療の提供	Ⅲ	病院機能評価は、機構の都合により延期になっていますが、2023年5月に受審したのでしょうか？	2023年5月17～19日の期間に受審しました。
74	奈良	23	その他(事実確認等)	高度・先進医療の提供 (病院機能評価の受審および認定更新)	Ⅲ	受審日が2023年度にずれすることは予見されたのでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴う延期であったため、予見は非常に困難でした。
75	奈良	24	その他(事実確認等)	高度専門医療人の育成 (災害対応セミナーの開催)	Ⅳ	3回の開催のうち、定期的に行われるものはあるのでしょうか。	いずれも定期開催されるセミナーです。
76	榎山	26	その他(事実確認等)	安定的な病院の運営	Ⅲ	安定的な病院経営に必要なコスト削減などのうち、エネルギーコストについては重大事と考えるが具体的な対策についてききたい	<p>具体的な対策としては、省エネ機器への更新、診療に影響をおよぼさない範囲でのエアコンや照明のタイマー設定見直し、熱源機器の運転スケジュール調整、事務部門の部屋の消灯、などを実施しています。</p>

<年度評価：大阪公立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
77	奈良	26	その他(事実確認等)	安定的な病院の運営 (医療材料費等のコスト削減の実施)	Ⅲ	削減の目安のようなものがあるのでしょうか。	納入価については、ベンチマークシステムを活用し、全国平均未満の購入価を目安とし価格交渉を実施しています。また、診療収益に占める医材比率も一つの指標としています。
78	奈良	26	その他(事実確認等)	安定的な病院の運営 (老朽化に伴う病院基幹設備の更新)	Ⅲ	事業計画どおりに高圧受電用継電器、遮断器等および患者用昇降機設備の更新を実施したとありますが、2023年度、2024年度事業実施見込の記述にも同様の記述があります。これらの設備について、未実施のものは何でしょうか。	未実施は、高圧受電用継電器、遮断器等においては、継電器と遮断器が各12箇所(電気室3室分)で、患者用昇降機設備においては、B1F~3Fのエスカレーター6台となります。

<年度評価：高専の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
79	奈良	28	評価の妥当性等	SDGs社会を志向したグローバル教育に関するプログラムの構築	Ⅲ	達成水準として、「プログラム具体化」とありますが、事業実績としては、「現状の取り組みと今後の課題を検討した」とあります。また、達成水準に対する実績として、具体化は「実施済み」と記載されていません。「プログラム具体化」とは何を意味するのでしょうか。	グローバルエンジニア育成プログラム検討WGにおいて、各専門コースからの意見をまとめ、現状の取組と今後の課題を検討し、オタゴ短期留学や海外インターンシップなど、複数の国際交流・異文化理解プログラムを具現化しました。そのため、プログラムの具体化について、実施済みと記載させていただいております。
80	浅田	29	その他(事実確認等)	社会・産業ニーズに対応する教育と内部質保証	Ⅲ	<補足>に科研費の申請・採択の件数が記載されているが、教育力向上との関係性を確認したい。	高専の主たる目的は教育であり、研究もあくまで教育に活かすためのものという考えから、科研費の申請においても、社会・産業ニーズを含めた新たな教育プログラムや教材の開発など、教育力向上に資する内容で申請することを推奨していることから、科研費の申請・採択件数を指標としています。
81	奈良	29	評価の妥当性等	学生視点から教育内容の点検	Ⅲ	学生視点から教育内容の点検の結果や成果について、触れてもよいのではないのでしょうか。	全ての講義および実験実習に関して授業評価アンケート(数値評価と自由記述)を実施しており、その結果を科目間連携で共有し、授業改善につなげています。
82	奈良	29	評価の妥当性等	教員インセンティブ制度検討	Ⅲ	若手インセンティブ制度について、内容や成果に触れてもよいのではないのでしょうか。	若手教員を対象に教育基盤整備と良質な学生教育を提供できるようサポートするため、校長裁量経費を配分しています。
83	奈良	30	評価の妥当性等	3年次編入学の特別推薦枠拡大に向けた協議実施	Ⅲ	実施できなかった理由は何でしょうか。	大阪市立大学工学部独自の3学科を含めた大阪公立大学工学部としての編入学制度に、大阪府立大学工学部と大阪府立大学工業高等専門学校との間での取り決めであった特別推薦制度を引く続き適用するための調整をまず行う必要があったため、推薦枠拡大まで協議できる状況ではありませんでした(結果として大阪市立大学工学部独自の3学科分の推薦枠が追加されています)。

<年度評価：高専の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
84	奈良	31	評価の妥当性等	府南部地域等への中学校訪問	Ⅲ	未実施の理由を教えてください。	府内南部等への中学校訪問に関しては、現在市町村を絞った上での実施を検討しているため、未実施となりました。なお、中学校訪問ではありませんが、7月30日と8月11日に「なかもずキャンパス」(堺市)において、昨年度より学校説明会を1回増やして開催し、2日間で81名の中学生が参加しました。81名の参加者のうち半数以上の方は、堺市、高石市、和泉市、泉佐野市、岸和田市と大阪南部から参加されています。
85	奈良	32	その他(事実確認等)	企業対象のセミナー実施	Ⅲ	これに関連して、技術相談の現状はどうなっているのでしょうか。	生産技術を中心に企業からの無料技術相談を2022年度は6件、延べ14回受けるなど、企業の技術課題の解消に向け取り組んでいます。

<年度評価：大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
86	槇山	35	その他(事実確認等)	府大グローバル人材	Ⅲ	ゲストプロフェッサーは具体的にどのような人材か。	<p>国際交流課が実施する外国人研究者招へい事業(ゲストプロフェッサー)を活用し、本学学生に対する英語による専門教育・セミナー等を実施することを目的に招へいた諸外国の優秀な研究者です。</p> <p>2022年度は、以下の研究分野のゲストプロフェッサーを招へいしました。</p> <p>&lt;2022年度招へい者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学(ブラジル物理学研究センター・ブラジル)</li> <li>・工学(ダナン大学・ベトナム)</li> <li>・物理学(サラゴサ大学・スペイン)</li> <li>・船舶工学・海洋工学(ニューオリンズ大学・アメリカ)</li> <li>・Leadership development(セイブルック大学・アメリカ)</li> </ul>
87	奈良	35	評価の妥当性等	大学院共通教育(アカデミックライティング)、指導教員による英語論文指導等での研究	Ⅲ	「研究力の強化」というより「表現力と発信力の強化」のように思えますが、履修希望者がなかった理由は何でしょうか。	1年次配当科目であり、当該計画は大阪府立大学の計画であることから、対象者が昨年度で履修を完了していたためです。
88	浅田	36	その他(事実確認等)	(府大)教育の質保証等	Ⅲ	No. 39(市大)には認証評価が記載されている。(府大)も認証評価を受審し適合を受け内部質保証が優れていると評価されたことを記載してもよいのではないかと。	<p>No. 39「(市大)教育の質保証等」については、年度計画に機関別認証評価の受審に関する項目が設けられていたことから、取組実績欄に記載をさせていただいておりますが、No. 36「(府大)教育の質保証等」については、年度計画に機関別認証評価受審に関する項目を設けていなかったため、取組実績欄には記載をしておりません。</p> <p>また、No. 53「自己点検・評価および業務実績評価」の取組実績欄において、府大・市大の認証評価の記載をさせていただいております。</p>
89	奈良	37	評価の妥当性等	質の高い教育の提供	Ⅲ	従来のお阪市立大学の教育を提供することで、質の高い教育を提供できるとの理解でよいのでしょうか。	お見込の通りです。

<年度評価：大阪府立大学及び大阪市立大学の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
90	奈良	39	評価の妥当性等	機関別認証評価の受審	Ⅲ	受審結果をどのように活用されているのでしょうか。	大阪府立大学・大阪市立大学の認証評価での改善点については、今年度以降、大阪公立大学で改善の実施を行うこととしています。
91	奈良	39	その他(事実確認等)	教育評価計画の策定	Ⅲ	計画の内容はどのようなもののでしょうか。	「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針(2022年4月、教育推進本部)」に定める教学アセスメントの一環として、学部(学域)生・院生・卒業生・修了生および教員を対象とした調査を、参考資料のとおり体系的に7年間で実施する計画となっています。
92	槇山	40	その他(事実確認等)	府大学生支援	Ⅲ	健康管理センター カウンセリングルームなどでの相談について女子学生ならではの相談に対応できるような体制が整備されているか 市大も同様に？	カウンセラー・精神科医は男女いるため、本人の希望に合わせて対応できる体制となっています。また男女問わず、個人を尊重し対応しており、市大・府大で同じ対応を実施しています。
93	奈良	40	その他(事実確認等)	健康診断受診率向上	Ⅲ	受診率「向上」というより「維持」という表現の方が妥当と言えるのではないのでしょうか。そもそも受診率の目標値をどこに置くかで、数値の評価は変わるように思います。また、関係者の方々のご努力に頭が下がります。受診しない学生に何かをさせることが必要に思います。	(評価にあたっての委員意見)
94	奈良	40	その他(事実確認等)	外国人留学生チューターの配置人員	Ⅲ	年度計画の達成水準の数字が、判断根拠の数字と異なっているのではないのでしょうか。	年度計画達成水準記載の103名が正しい数字となります。修正させていただきます。
95	奈良	42	その他(事実確認等)	健康診断受診率向上	Ⅲ	受診率「向上」というより「維持」という表現の方が妥当と言えるのではないのでしょうか。そもそも受診率の目標値をどこに置くかで、数値の評価は変わるように思います。また、関係者の方々のご努力に頭が下がります。受診しない学生に何かをさせることが必要に思います。	(評価にあたっての委員意見)



<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
96	奈良	45	評価の妥当性等	校長補佐が十分機能するための学内組織および会議体等の整備	Ⅲ	取り組み実績に「教授会を設置した」とありますが、リーダーシップが発揮できる運営体制の構築と相反するよう見えますが、取り組みについて教えてください。	校長の方針・目標等を全学的に進めていくためには、全ての教授の協力が不可欠であるため、校長の方針等を直接伝え、議論することができる教授会を設置しました。
97	原	46	その他(事実確認等)	法人運営に資するIR	Ⅲ	IRでターゲットとしている層は学生だけでしょうか？他にもターゲットとする層はありますか？さらに、「データを公表する」とありますが、ターゲットの関心に適合したデータでしょうか、具体的にお示しください。	用語集記載の通り、IRは大学の初活動全体を対象としておりますので、対象は学生には限定されません。 データで見る公立大学法人大阪は、法人の活動成果を可視化し、ステークホルダーに法人・大学・高専の現況を伝え、情報公開によって透明性を確保することを目的としたものであり、広報を目的としたものではありませんので、特定のターゲットはありません。
98	原	46	評価の妥当性等	法人運営に資するIR	Ⅲ	Ⅲと評価する理由を追加説明ください。(現状の記載ではよく伝わってこなかったため)	2022年度に新たに開学した大阪公立大学と大阪府立大学、大阪市立大学の3大学を併記した新様式でのデータ集を作成、公表したことから、年度計画の達成水準を満たしたと判断しました。
99	奈良	46	評価の妥当性等	法人運営に資するIR	Ⅲ	年度計画の達成水準に「データ集の作成および公表」とありますが、収集したデータをどのように活用するのか、記述が必要ないでしょうか。	データ集は収集したデータを基に、法人の活動成果に関する透明性を確保し、ステークホルダーに法人・大学・高専の現況を伝えることを目的として作成しているものとなっています。 収集したデータの活用については、収集したデータを活用して法人のIR機能を強化する見込みであり、実績報告書のとおり、組織等の体制の整理やシステムの利用を開始したものとなっています。

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
100	槇山	47	その他(事実確認等)	DX	Ⅲ	サイバーセキュリティの具体策、大阪府開発のORDENとの連携の方向性について教えてほしい	<p>基盤システム・基盤ネットワークにおいて以下のセキュリティ対策を実施しています。</p> <p>①外部ファイアウォール機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■URLフィルタ機能(危険な外部サイトへの接続を遮断)</li> <li>■IDS「不正侵入検知システム」/IPS「不正侵入防止システム」機能(学外からの攻撃を検知し、侵入を防止)</li> <li>■アンチウィルスゲートウェイ/アンチスパイウェア/アプリケーションコントロール機能(ウィルスなどの不審な通信をブロック)</li> </ul> <p>②SOCサービス(専門会社によるセキュリティ監視サービス)</p> <p>③WAF(本学Webサイトへのセキュリティ対策)</p> <p>④Webアイソレーション(外部のWebサイト参照時のセキュリティ対策/全学調達事務端末のみ)</p> <p>⑤二要素認証(外部からの不正アクセスの防止)</p> <p>⑥メールセキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■IPレピュテーション/ブラックリスト対策</li> <li>■スパム対策</li> <li>■ウイルス対策</li> <li>■なりすまし対策</li> <li>■メール無害化</li> </ul> <p>⑦ウイルス対策ソフトの配布</p> <p>⑧端末統合運用管理機能(全学調達事務端末のセキュリティ対策)</p> <p>また大阪府開発のORDENとの連携については、大阪スマートシティパートナーズフォーラムのデータ活用コーディネータに本学情報学研究科教員が就任し、ORDEN担当者も交えて、府内市町村ヒアリングを行い、データ活用に向けた取組みを実施しました。</p>

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
101	奈良	51	評価の妥当性等	府大つばさ基金、市大夢基金の実績維持	Ⅲ	過年度の推移を教えてください。	<p>&lt;府大つばさ基金&gt;                      2019:55,122,551円                      2020:91,758,500円                      2021:106,733,274円                      &lt;市大夢基金&gt;                      2019:98,297,211円                      2020:129,628,070円                      2021:66,070,817円</p>
102	奈良	54	評価の妥当性等	法人情報の提供	Ⅲ	提供すべき法人情報が明瞭に定義されているのでしょうか。	<p>年度計画及び業務実績報告書については、地方独立行政法人法で公表が定められています。                      シラバスを含めた教育情報については、中期計画の達成水準に記載の通り、公表すべき内容が学校教育法施行規則に定められています。</p>
103	槇山	56	評価の妥当性等	計画的な施設整備	Ⅲ	不発弾による工事中断の理由による遅れにより中期がⅡの評価になっているのか？今後も不測の事態を含めて評価を行うのか？	<p>お見込みの通りで、不発弾による工事中断の理由による遅れにより、達成水準を満たさない見込みであるため、Ⅱ評価と判断しました。                      今後の評価については、それぞれの計画の個別事情を鑑み、判断いたします。</p>
104	槇山	58	その他(事実確認等)	新施設の整備	Ⅲ	今後、工事費、部材費が高騰することによる整備遅れへの懸念などについては、どう考えているか	<p>令和5年2月に資材価格高騰等の影響により建設工事入札が不落となったため、大阪市は補正予算を組み、再度公告を行うこととなりました。                      最短で令和9年度当初の開設となり、当初からその機能を発揮すべく、医療機器・システム等の調達計画や人員確保計画について見直しを行い、大阪市と協議しております。                      また機器等においても相当の価格高騰が見込まれるため、調達スケジュールに影響がないよう大阪市に対し、追加予算措置の協議をお願いしているところです。</p>

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
105	原	59	その他(事実確認等)	環境マネジメント	Ⅲ	「(杉本) エネルギー使用量1%削減の取り組みを実施した」とあるが、エネルギー使用量を1%削減できたかどうか数字で確認していますか? しているならばその数字を教えてください。	コロナ禍前の過去5年(H27~R01)の平均値と比較した削減数値は以下のとおりとなっています。 ・電気 7%削減 ・ガス 5.5%削減
106	原	59	その他(事実確認等)	環境マネジメント	Ⅲ	上場企業ではCO2削減量を数字で計算することが必須となる法律が登場しています。大学ではCO2削減量を数字で計算する法律はありますか? もしあるとすれば、当法人はその対象になっていますか?	本法人は「地球温暖化対策の推進に関する法律」(温対法)における特定排出者に該当し、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」において、エネルギー消費等原単位の過去5年間平均変化を年1%以上低減させる努力目標が課されております。
107	網代	60	その他(事実確認等)	安全衛生管理および教職員の健康管理	Ⅲ	メンタルヘルスの体制を充実され、産業医面談件数が急増したとあります。面談実施率の3年間の推移を教えてください。	過去3年間の産業医面談件数の推移は以下のとおりとなっています。 ■産業医面談数 2022: 130件(杉本キャンパ <sup>ス</sup> 68件、中百舌鳥キャンパ <sup>ス</sup> 62件) 2021: 82件(杉本キャンパ <sup>ス</sup> 27件、中百舌鳥キャンパ <sup>ス</sup> 55件) 2020: 62件(杉本キャンパ <sup>ス</sup> 23件、中百舌鳥キャンパ <sup>ス</sup> 39件)
108	奈良	60	評価の妥当性等	教職員の健康診断受診率の向上	Ⅲ	杉本キャンパスと中百舌鳥キャンパスにおいて、受診率に差が生じる理由は何でしょうか。	杉本キャンパス(旧市大)では、過去に結核の集団感染があり、保健所の指導により健康診断受診(胸部X線検査)の徹底を指導され、そのときに大幅に健診受診率が上昇しました。その流れより杉本キャンパスでは健診受診の意識の高さが残っていると思われます。
109	奈良	62	評価の妥当性等	リスクマネジメント等の推進	Ⅲ	問題が生じたときの広報についての項目は必要ないでしょうか。	計画に設定はしていませんが、問題が生じた際には、適切に公表等を行います。

<年度評価：法人の業務実績に関するご質問・ご意見>

番号	質問委員	計画No.	質問分類(※1)	項目	自己評価	内容	回答
110	原	63	評価の妥当性等	人権尊重	Ⅲ	法人が把握している2022年度ハラスメントの発生実績（ハラスメントの種類別に）を教えてください。	2022年度は26件のハラスメント相談に対応しましたが、ハラスメントと認定されたものはありませんでした。
111	原	63	評価の妥当性等	人権尊重	Ⅲ	私見ですが、No. 63の評価を行うためには、ハラスメントの発生実績情報も併せて判断することが必要と考えます。この業務実績報告書において、No. 63をⅢと評価する理由を教えてください。	本計画においては、ハラスメントの防止のため、ハラスメント相談員への研修実施とガイドラインの改訂を達成水準としており、計画通りの取組みを実施したことから、計画及び達成水準を満たす取組みができたと判断しました。
112	奈良	63	評価の妥当性等	人権尊重	Ⅲ	問題が生じたときの広報についての項目は必要ないでしょうか。	計画に設定はしていませんが、問題が生じた際には、適切に公表等を行います。